

ふくおかの
豊かな自然と生きものを
未来へ

～福岡県生物多様性戦略がスタートしました～



知っていますか？ ふくお



沖ノ島



チクゼンハゼ(各地の干潟)



アカウミガメ(筑前海)



筑前海沿岸の砂丘(糸島市)



カワラサイコ(筑前海沿岸砂丘)



カワラハンミョウ(筑前海沿岸砂丘)



ハマボウ(筑前海、豊前海沿岸)



宝満山のモミ林(三郡山地)



ハカタスジシマドジョウ(福岡平野)



ヒナモロコ(久留米市田主丸町)



クロツラヘラサギ(各地の干潟)



エツ(有明海～筑後川)



筑後平野のクリーク



カヤネズミ(各地の草地)



ムツゴロウ(有明海)



シチメンソウ(柳川市)



かの豊かな自然と生きもの



スナメリ(豊前海～筑前海)



カブトガニ(豊前海・筑前海の干潟)



アオギス(豊前海)



ガンヤモク(北九州市のため池)



曾根干潟(北九州市)



ツグシガモ(各地の干潟)



平尾台(北九州市)



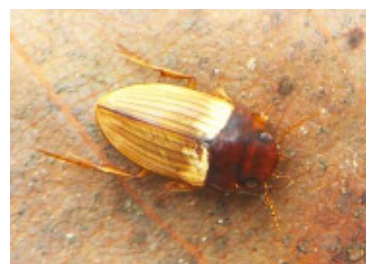
ブセンノギク(築上町)



チョウジガマズミ(香春町)



英彦山のブナ林(添田町)



ヒコサンセスジゲンゴロウ



カゼトゲタナゴ(各地の河川、水路)



ニシキキンカメムシ(古処山)



八女地方の棚田

生物多様性ってなんだろう？

森林や田んぼ、ため池、草原、川、海など様々な自然があり、その中で様々な生きものがお互い関係しながら生きていること。これを生物多様性といいます。

生物多様性の恵み

生物多様性は私たちに様々な恵みをもたらしてくれます。

生命を支える土台

植物は酸素を生み出し、森林は水を貯める緑のダムとなります。ミミズや様々な微生物は豊かな土をつくり出します。このように、私たちが生きていくための基盤である大気・水・土は、様々な生きものが関わってつくり出したものです。



英彦山の森林(添田町)



エツ料理(大川市)

暮らしの基礎

私たちの暮らしに欠かせない食物や衣料、紙、医薬品。生きものはこれらの材料として利用されます。多様な生きものの存在は、多様な食材の提供、新たな医薬品の開発など、私たちが豊かな生活を送る上で重要な役割を担っています。

豊かな文化の源(みなもと)

生きものは豊かな文化の源ともなります。例えば、生きものを神仏化する日本古来の宗教、様々な祭りや踊り、詩歌、工芸品、食文化…。釣りや昆虫採集などの遊びも、様々な生きものがいることによって生み出された文化です。



鮭神社(嘉麻市)



今川河口の干潟(苅田町、行橋市)

安定した暮らしの守り手

多様な生きものにより構成される生態系は私たちの暮らしの安全や安定に役立っています。例えば、干潟ではゴカイなどの様々な生きものがいて、食物連鎖を通じて有機物が分解され、海の水質浄化に役立っています。

将来につなぎたい豊かな恵み

例えば、海の魚は、適度な量であれば、いつまでも捕り続けることができます。しかし、捕りすぎて絶滅させてしまうと、元に戻すことはできません。将来世代に生物多様性の恵みを引き継ぐために、自然の再生能力を超えない範囲で利用するといった、持続可能な利用が求められます。



生物多様性の危機

しかし、豊かな福岡県の生物多様性にも様々な危機が迫っています。

開発や乱獲などによる影響

開発や乱獲は、様々な生きものの数を減らし、絶滅に追い込むこともあります。県内では、開発によって豊前海沿岸のシチメンソウが絶滅し、乱獲によってカワウソなどが絶滅しています。



住宅地造成のための森林伐採



草原に生育するノヒメユリ

人との関わりが減った里地里山

人の手によって維持管理されている里地里山（農地、草原、ため池、里山林など）にも、様々な生きものがすんでいます。農林業の変化や農山村の過疎化などにより、例えば、草原が森林化して、草原に生育するノヒメユリなどの植物が数を減らしています。

外来種の脅威

外来種が、昔から県内にいた生きものや生態系に深刻な影響を及ぼしている事例もみられます。例えば、ブラックバスが侵入したため池では、魚や水生昆虫など様々な在来種が絶滅しています。



外来種・ブラックバス



脊振山のブナ林(福岡市)

地球温暖化による影響

地球温暖化の進行は、生きものにも大きな影響を及ぼす可能性があります。例えば、福岡県では現在、高い山にはブナ林がみられますが、平均気温が2℃上昇した場合、脊振山地などではブナ林が消失してしまう可能性があります。

人も生きものも住みやすい社会へ

きれいな水や空気、豊かな土…。私たち人間にとって大切な環境は、多くの生きものを育み、生物多様性の恵をもたらしてくれます。生きものにとってすみよい環境を目指すことによって、私たち人間にとっても住みよい環境をつくることにつながります。これからは、人と多様な生きものが共に生きることができる環境、つまり、豊かな自然と生きものに配慮する視点をもった社会をつくっていくことが大切です。



みんなで目指そう！夢の

危機を克服し、この将来像を実現するため、私たちは行動を起こします。

エビネ、キンラン、ムササビ、ヒキガエルなど、様々な生きものを身近に見ることができるようになっていきます。

森林から恩恵を受ける都市の住民など、多様な人々が森林整備に参加しています。また、豊かな山の恵みを人々が楽しんでいます。

【農村】

オオタカのすむ里山

多様な生きものがみられる水田

生きもの認証米

【森林】

クマタカを育む奥山の森林

森林の多様な生きもの

様々な里山の林

生きものに配慮した林業

森林ボランティア

鎮守の森

山菜採り

生きもの
生きものに
幸せを共感

海岸侵食でやせ細っていた砂浜は回復し、海浜の植物群落が美しい姿を取り戻しています。

【沿岸・海洋】

干潟の生きもの

砂浜の生きもの

潮干狩り

回復した干潟

海辺でのレクリエーション

回復した砂浜

活性化した漁業

磯の生きもの

藻場や干潟、海底の環境が改善し、海の生きものも増えています。漁業も活性化し、身近な海の幸により、食卓がより豊かになっています。

回復した水産資源

回復した藻場

福岡県～2050年の将来像～



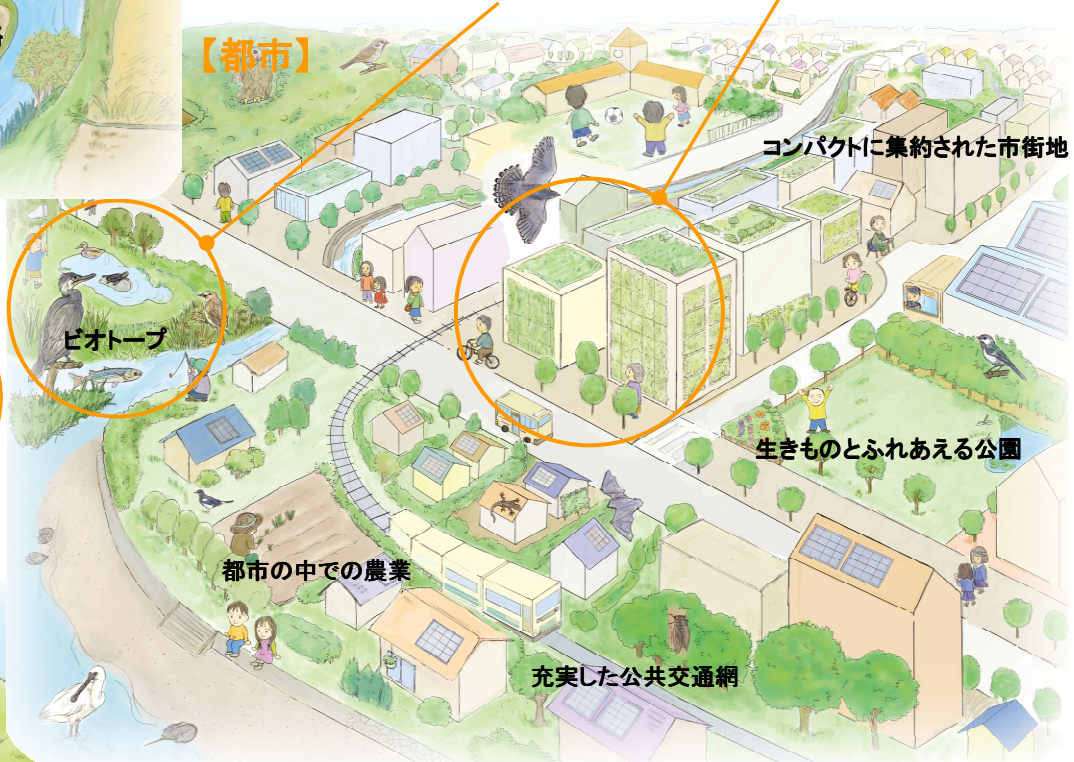
環境に配慮した農業や農地整備によって、水田には、トンボやカエル、ドジョウなど様々な生きものが戻っています。

生物多様性を育む付加価値の高い作物が収穫されています。

生きものに配慮した公園やビオトープが造られ、多様な生きものがみられる場所になっています。

屋上や壁が緑化された建物が多くなっています。緑に覆われた都市は様々な生きもののすみかとなっています。

を支え、
支えられる
できる社会



【河川・湿原】



堰には魚がのぼりやすい魚道が整備され、生きものが行き来できるようになっています。

様々な生きものが戻ってきた川では、多くの人々が川遊びを楽しんでいます。

2050年の将来像実現のために



住みたいのは自然が多くて生活しやすいところね。暮らしの中でできる保全なら、取り組もうかな。

私たちの得意分野をいかして生物多様性の保全に貢献するよ。

私たち企業も、生物多様性の恵みによって事業活動を維持していることを認識することが大切だね。

子どもたちに生物多様性の大切さを伝えるよ。

美味しくて自然に優しい食材や質の良い木材を届けよう。



保全活動や、各主体の連携強化など、地域に密着した支援をします。

各地域の取組を支援し、皆さんに役立つ情報を提供します。



※NPO等・特定非営利活動法人(NPO法人)とボランティア団体、地縁組織、公益法人などを総称して「NPO等」と表記しています。

福岡県生物多様性戦略

—生きものを支え、生きものに支えられる幸せを共感できる社会を目指して—

※ 戦略の全文を県ホームページからダウンロードできます

☆福岡県の自然や生物多様性の保全に役立つ情報が満載！

- ・福岡県生物多様性戦略
- ・福岡県の希少野生生物データベース(福岡県レッドデータブック)
- ・福岡県の自然公園と九州自然歩道
- ・各種パンフレット(生物多様性、里山、ため池 など)

「知りたい」「見たい」は福岡県自然環境課へアクセス！

福岡県自然環境課

検索



写真提供者(50音順・敬称略)： 城戸克弥、竹中孝司、服部卓朗、北九州市役所